

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大和田小学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)各教科における基礎的・基本的な知識・技能の資質・能力 (2)自己の学習を振り返り、学習を調整することができる資質・能力 (3)学習に主体的に取り組み、課題を解決しようとする資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)レディネス問題や適用問題を通して児童が何をどれだけ理解しているかを教師が把握するとともに、理解度に合った問題に取り組み機会を設ける。【単元・題材ごと】 (1)書き込み式ドリルやデジタルドリルの活用を通して、一人ひとりの課題に合った学習を進めていくことができるよう指導する。【週一〜費】 (2)振り返りの時間を確保し、自己の学びを調整しながら学習を進められるようにする。【毎授業実施】 (3)児童とともに必要感のある課題を設定したり、児童が主体的に課題を解決したりする場を設定する。【毎授業実施】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		①調査の振り返り(4月) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
学力向上策の 見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所